

みんなとともに笑顔いっぱい



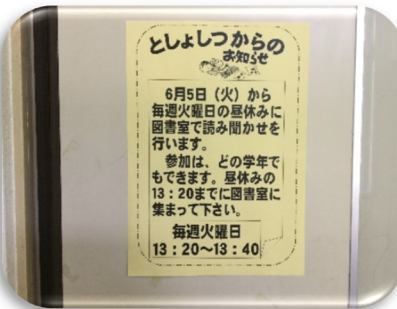
# みんなとともに



人権教室が6年の子どもたちを対象に行われました。「いじめ」という難しい問題について考えた訳ですが、とても感心したことがあります。それは、子どもたちがよく考え、前向きな意見をしっかりと発言できていたことです。そこに、よい行動にあこがれる心、互いの違いを認め合う雰囲気を感じたのでした。手前味噌ですが、とてもよく育っているなあ、と思いました。



## 山吉泰子 図書館司書 の仕事



図書環境が整ってきています。先日は、1年生の「貸し出しファイル」を作っていました。まもなく、1年生も図書室の本を借りることができます。

また、密かにやっていることとして、「子どもの意欲を高める“しおり”を作っていること」「本を手に取りたくなるように“棚の工夫”をしていること」を教えてくださいました。

以前お伝えしたかとは思いますが、火曜日には希望する子どもたちに「絵本の読み聞かせ」をしています。

様々なしなかけで、本校の子どもたちを「本好きな子ども」に育てようとしてくれていることをうれしく思っています。

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
清明小	7	3	2	5				17
青木小	2	0	3	0				5

## 市連ソフトボール大会 お父さん大活躍

6月24日(日)の試合に勝ち、みごとベスト16に入りました。ホームランやダブルプレーなどお父さん方の華麗なプレーが随所に見られました。

次回の試合は、7月1日(日)9:10から十六沼運動公園で行われます。

## 【校長のつぶやき】 その2 「生活の“リズム”」

本校の登校時刻は、午前8時15分。ただ私の本音は、第5号にも書いたとおり、「午前8時までには全員が登校していること」である。

この“15分早く”というのが難しい。それは、「その子固有の生活リズム」(朝起きてから家を出るまでの時間感覚)があるからである。

私の反論は、「学校での“生きがい”があれば、子どもは学校へ早く行きたいと思うのではないか」というものである。実際、特設陸上部の朝練に参加している子どもたちは、7時30分を目安に登校できている。その生活リズムが身に付くと、朝練がない日もほぼ同様の時刻に登校できている。

“生きがい”は、それぞれにある。友だちに会っておしゃべりをしたい、係や委員会の仕事をしたい、生き物の世話をしたい、担任に会っていっぱい話をしたい・・・。

子どもたちがそれぞれの“生きがい”を見つけたとき、もっともっと「笑顔いっぱい」の学校になるのだろうと考えている。